

第 50 回(H23 年度第 8 回)MT 委員会 議事録

日時: 2011 年 12 月 16 日 13:30–14:35

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井^a (委員長)、延與^{a,†}、福西^a、羽場^{a,†}、林^a(阿部代)、稲辺^a(久保代)、上垣外^a、加瀬^a、久保野^b、西村^{a,†}、大津^a(櫻井代)、下浦^b、須田^{c,†,‡}、上野^a、上坂^a、上蓑^a、若杉^a

欠席: 阿部^a、久保^a、森田^a、本林^{a,†}、櫻井^a、吉田光一^{a,†}

^aRNC / ^bCNS / ^cRIBF-UEC / [†]Observer / [‡]TV Attendee

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT 変更(上野)

8.5 MW の外部電力を利用した SRC-BigRIPS の運転を 12/12 朝から 12/19 朝まで延長すること、及び CGS を停止する 1 月に 5.5 MW の外部電力を使用して RILAC-GARIS 運転をすることが所に認められた。これを受け、12–1 月の MT スケジュールを下表の通り変更した。

Experimental-Program-Number	previous	changed
<u>SRC</u>		
NP0702-RIBF30-04 (Yoneda)	Nov/ 9/ 9:00 – Nov/16/21:00	→ Nov/ 9/ 9:00 – Dec/ 3/21:00
NP0702-RIBF31-04 (Aoi)	Nov/17/21:00 – Nov/26/ 9:00	→ Dec/ 5/ 9:00 – Dec/ 8/ 9:00
NP1012-RIBF63-01 (Sumikama)	Nov/27/ 9:00 – Nov/29/ 9:00	→ <i>cancel</i>
MS11-03 (Kubo)	Dec/ 5/ 9:00 – Dec/11/ 9:00	→ Dec/12/ 9:00 – Dec/18/ 9:00
NP0702-RIBF09-01 (Lewitowicz)	Dec/11/ 9:00 – Dec/12/ 9:00	→ Dec/18/ 9:00 – Dec/19/ 9:00
<u>RILAC stand-alone</u>		
NP0702-LINAC12-13 (Morita)	Nov/ 3/ 9:00 – Dec/ 1/9:00	→ Nov/ 3/ 9:00 – Dec/19/ 9:00
ML1006-LINAC27-02 (Haba)	Dec/23/ 9:00 – Dec/29/9:00	→ <i>cancel</i>
NP0702-LINAC12-15 (Morita)	N/A	Jan/15/ 9:00 – Jan/29/ 9:00
<u>AVF stand-alone</u>		
MS11-14 (Sakamoto)	<i>conditional</i>	→ Dec/20/ 9:00 – Dec/21/ 9:00
RI0702-AVF04-29 (Haba)	<i>conditional</i>	→ Dec/22/ 9:00 – Dec/24/ 9:00
ML1101-AVF32-01 (Yokoyama)	Dec/18/9:00 – Dec/19/21:00	→ Dec/26/ 9:00 – Dec/27/ 9:00
<u>RRC</u>		
NP0811-RRC65-03 (Georgiev)	Dec/13/ 9:00 – Dec/20/ 9:00	→ Dec/20/9:00 – Dec/27/ 9:00
NP0702-RRC01-27 (Wada)	Dec/20/21:00 – Dec/22/ 9:00	→ Dec/28/9:00 – Dec/29/21:00
NP0709-RRC39-03 (Nagatomo)	Dec/25/ 9:00 – Dec/29/ 9:00	→ <i>cancel</i>

2. RIBF 加速器運転(福西)

- ²³⁸U ビーム供給

SRC トラブルからの復旧の後、NP0702-RIBF30-04 (Yoneda) MT へは最大強度 $I_{\max} \sim 3.5\text{--}4 \text{ pnA}$ (平均 $I_{\text{ave}} \sim 2.5 \text{ pnA}$) を供給した。SRC 復旧作業だけでなくビーム調整にも時間を要した為、MT の遅れが生じた。

- ¹²⁴Xe ビーム供給

12/12 朝 BigRIPS 側へビームを渡した。その後 12/16 現在までに要求時間の 83% 程度を強度 I_{\max} ~ 13.5 pnA (I_{ave} ~ 8 pnA) にて供給を中である。 ^{238}U と比べると安定しているものの、 ^{124}Xe ビームも強度の変動が大きいため常時調整が必要である。また、荷電変換膜の耐久時間は短く比較的頻繁な膜の交換作業が必要である。なお、今回の ^{124}Xe では ^{238}U と異なり上流側 (RRC-A02) は固定膜を使用している。

3. MS 報告 (稲辺)

12/12 朝 ^{124}Xe ビームを BigRIPS 側で受け取り 陽子過剰核ビーム供給のための BigRIPS 開発実験 – MS11-03 (Kubo) – を開始した。現在 ^{100}Sn の生成断面積・純度の測定を行っており、この後 ^{100}Sn の同調体や Sn の他同位体について収量、純度、運動量分布などの基礎的なデータを得る予定。

4. PAC 進捗状況 (上野)

- 10th NP-PAC: 12/9-10 に予定通り PAC を開催。現在答申待ち。
- 9th ML-PAC & 3rd In-PAC: 調整中。

【議題】

1. 前回議事録承認 (酒井)

2. 次年度上期 MT 計画について (酒井)

MT 計画概要及びこれに影響を与える工事予定、ビーム開発現況・予定について議論された。また、AVF 及び RRC 利用の RNC 事業の MT 予定についても議論された。検討の結果、次年度上期の BigRIPS 関連実験に関しては、3 月から開始される ^{18}O ビームシリーズに引き続き、 ^{48}Ca と ^{124}Xe (及び配分の可能性があれば ^{70}Zn) ビームを用いる実験の MT を配分することとした。なお、次年度上期の MT 割り当て募集は 1 月に行われる予定。

3. オブザーバー委員の追加 (酒井)

2012 年 4 月から 1.5 年間実施される EURICA (Euroball RIKEN Cluster Array) 計画が実施される。これと関連し、仁科加速器研究センター RI ビームファクトリーマシンタイム委員会細則第 5 条に基づき、酒井 MT 委員会委員長が、EURICA Project Manager である RNC 櫻井 RI 物理研究室の西村先任を 1 月からのレギュラーのオブザーバー委員として指名した。また、CRIB をご担当されている東京大学原子核科学研究センターの山口講師を同じく 1 月からのレギュラーのオブザーバー委員として指名した。

4. 次回 MT 委員会の日程

- 次回は 1/20 (金) 13:30- で調整

(以上)